

— 未来を見据え このまちをささえる —
株式会社 日本インシーク

所在地：大阪府大阪市南本町三丁目6番14号 イトゥビル(本社)
TEL : 06-6282-0310
FAX : 06-6282-0311
従業員：400名
設立年：昭和47年
代表者：代表取締役社長 番上正人



BIM/CIMの取り組み (4Dによる施工計画モデル)



点群とCIMモデルの融合



EE 東北 UAV 競技会



災害対応



MMS車両



UAVから見た室生ダム



平成31年度入社式



事業計画説明会



社内技術発表会



大阪府立高校測量実習



地元ワークショップ



道路整備事例



水辺の計画・設計

成り立ちと新社名の由来

日本インシークは、西日本を地盤とする「株式会社アスコ」(昭和47年創業)と東日本を地盤とする「株式会社大東設計コンサルタント」(昭和43年創業)が、平成28年4月に経営統合をし、「株式会社アスコ大東」となったのち、50周年を迎えるにあたり、平成31年4月に現社名に変更いたしました。

「INSIEK」はInsight(見据える、見抜く)とSeek(追求する)からの造語であり、設立以来、測量建設コンサルタントとして、未来を見据えていち早くICTを導入し、社会資本整備に関わることに於いて、常に理想を追い求めてきた当社の姿勢そのものです。「INSIEK」にはもう一つ意味があり、「IN」は事業の核であるInfrastructure(インフラ)を表しています。「S」「I」「E」「K」はそれぞれSkill(個々のスキル)、Innovation(新しい考え)、Energy(個々の活力)、Knowledge(知識)の4つの力を表し、その力でインフラを支えていくという理念を表しています。

日本インシークは、今後もICT機器を活用した社会資本に関わる、調査、計画、設計、維持管理とインフラのメンテナンスの技術をより発展させ、多様化するニーズに応え、社会の課題解決に取り組んでまいります。

技術の取り組み

日本インシークは、「安心・安全」「防災・減災」「維持管理」を柱に、組織の総合力を発揮するべく5つの事業部から成り立っています。

交通インフラ事業部は、生活や経済活動を支える都市や道路に対する多様なニーズに対して、最新の知見を用いて安全・安心の確保や利便性の向上、さらには維持管理の高度化・効率化に向けた技術提案に取り組めます。

防災インフラ事業部は近年の異常気象により、これまでの治水・防水対策を根本的に見直し、防災・減災に対しハード・ソフト両面から「強靱な社会」の創造を目

指します。

ライフライン事業部は、より安全で安心・快適な生活空間の維持向上のため、効率的で持続可能なエネルギー事業・上下水道事業の運営に貢献します。

CM事業部は、発注者支援を行い、今後の発注者の人材不足及び業務量の増加を鑑み、当社の技術者が発注者の業務を補完・サポートします。

空間事業部は、創業より培った測量技術を基礎に、最新技術を駆使し高度な空間情報の取得とこれらの情報を一元化する情報管理システムを提案し、効率化に貢献しています。特に、三次元測量技術を強みとしており、UAV・MMS等ICTを活用した測量・空間情報処理技術で、測量、計測を三次元で高効率かつ高精度に実現する技術を保有しています。

また、社内での技術開発や業務改善はもちろん、産官学による先進技術の研究開発を行うことで、より高度かつ効率的にインフラストックサイクルをサポートし、国

土強靱化による安心・安全な暮らし作りを目指します。

よりよい環境づくり

将来の少子高齢化に伴う担い手不足を見据え、現在日本インシークでは多様な人材が活躍できる職場づくりを目指し、様々な改革に取り組んでいます。

その中の一つとして、会社名を変更し、さらなる飛躍を目指して、令和元年10月に人事に関連する制度を一新しました。この制度改革には、日本インシークでどのようなキャリアを描いていくのか、特に若い世代に対して将来へのビジョンを持って働いてほしいというメッセージが込められています。ほかにも従業員一人一人によりフィットする働き方ができるような制度の導入を順次進めています。それによりシニア層の活躍も支援し、次世代へと技術が継承され、今後50年、100年先も長く発展し続けることを目指します。

(文：経営戦略部 部長 平野順俊)